

がん相談業務 (院内におけるピアサポート)

相談記録シート集計報告

実施期間：令和3年10月1日～令和3年12月31日

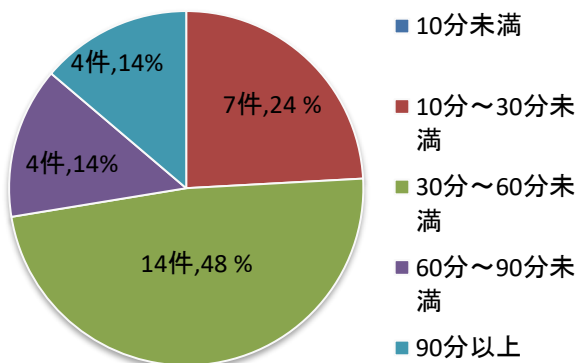
がん相談業務（院内におけるピアサポート）集計結果

■ 調査対象期間 令和3年10月1日～令和3年12月31日

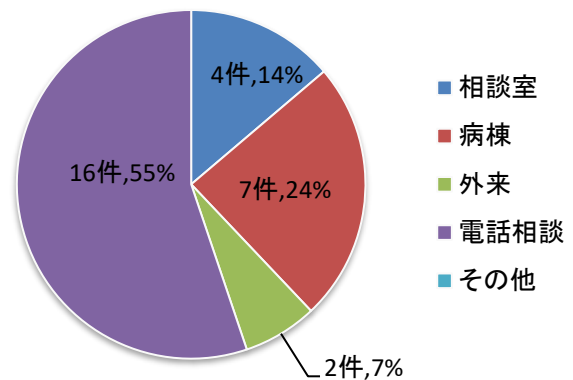
■ 調査件数 29 件

相談月	件数
10月	12
11月	9
12月	8
合計	29

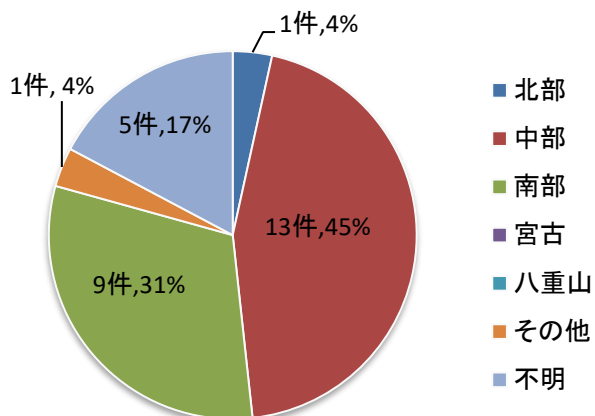
相談時間



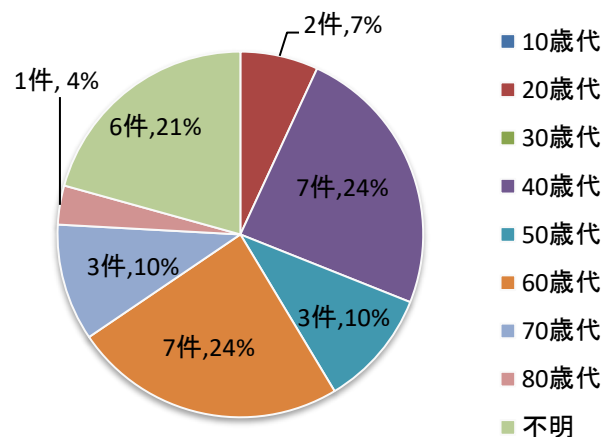
相談形式



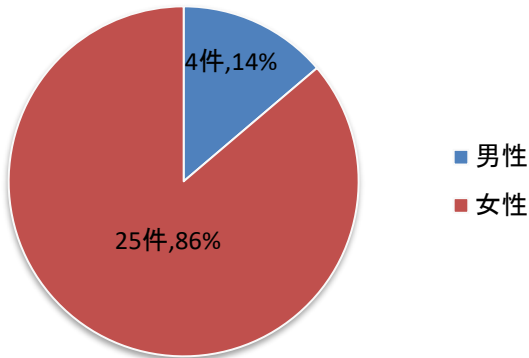
住居エリア



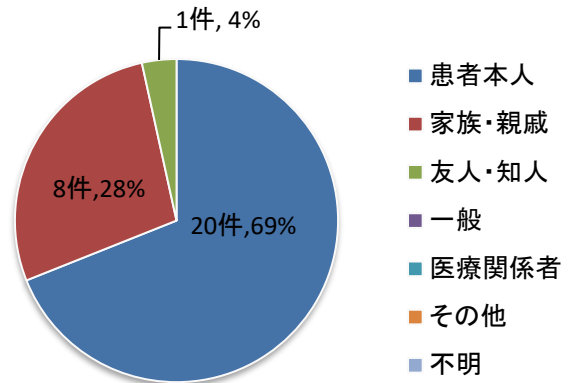
相談者の年代



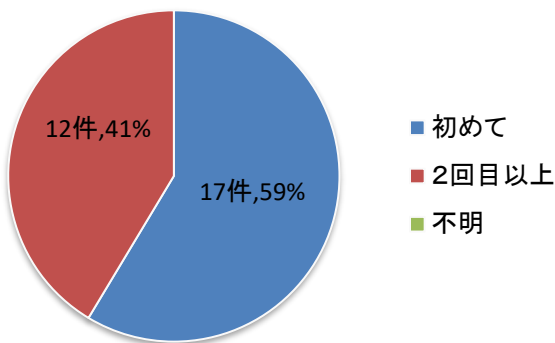
相談者の性別



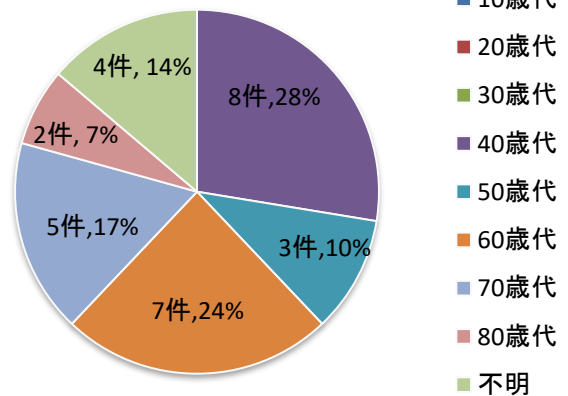
相談者のカテゴリー



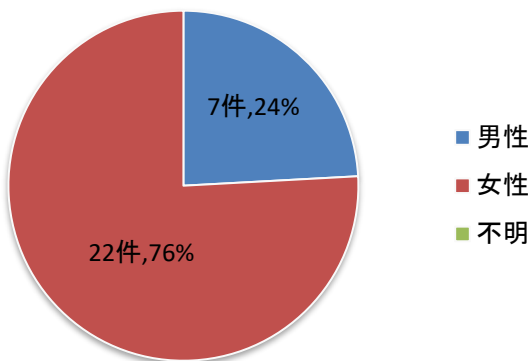
相談者の利用回数



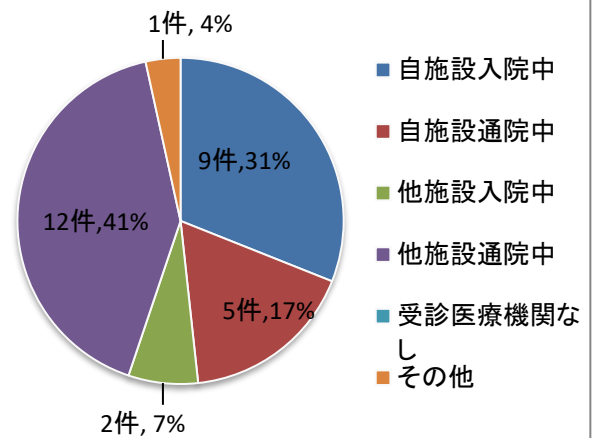
患者本人の年代



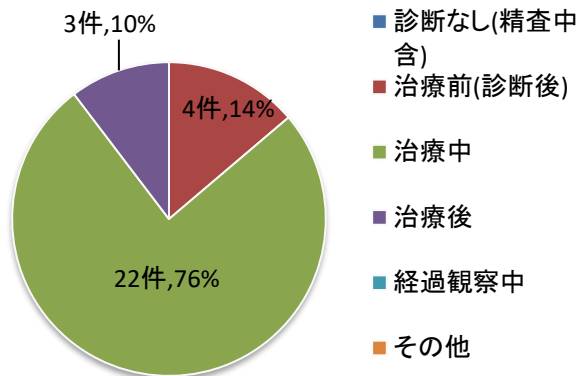
患者本人の性別



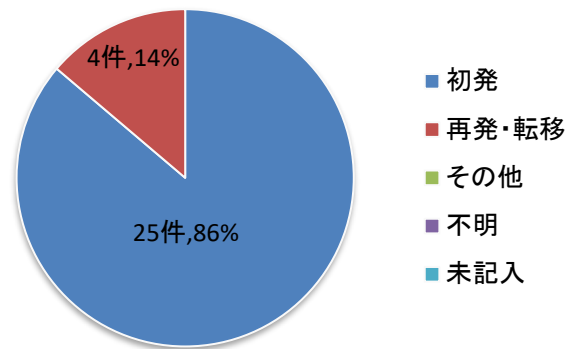
受診状況



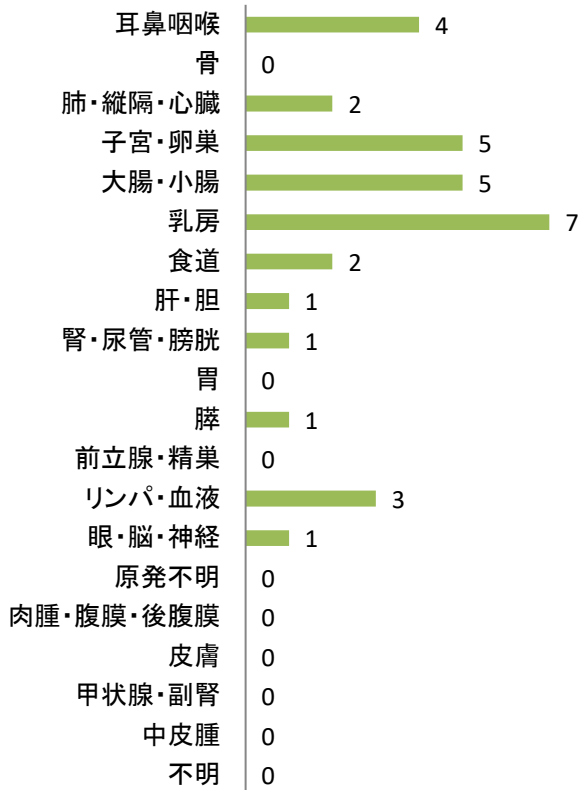
現在の治療状況



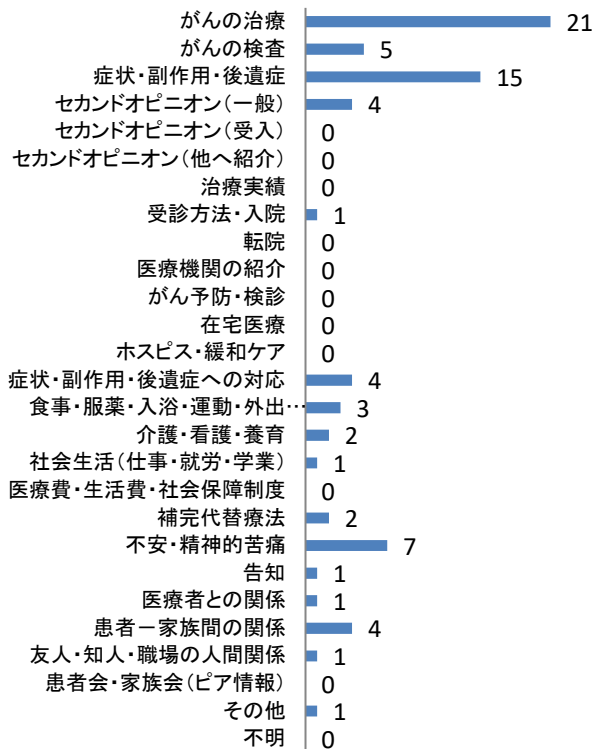
がんの状況



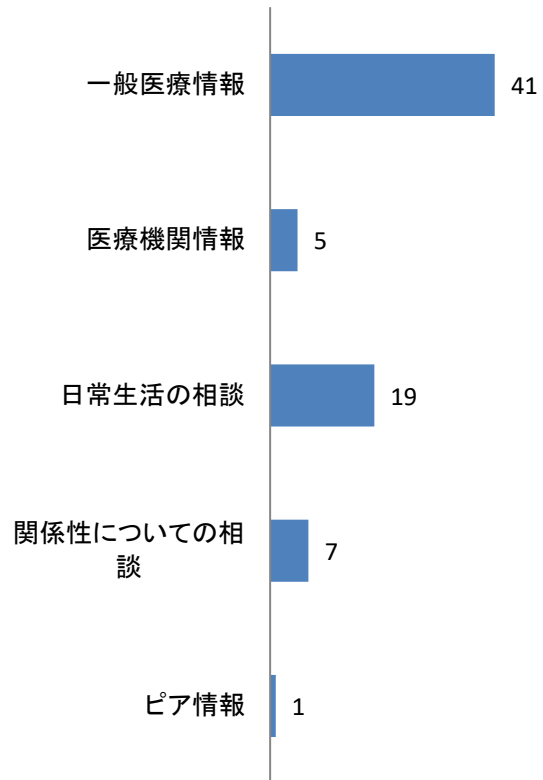
がんの部位



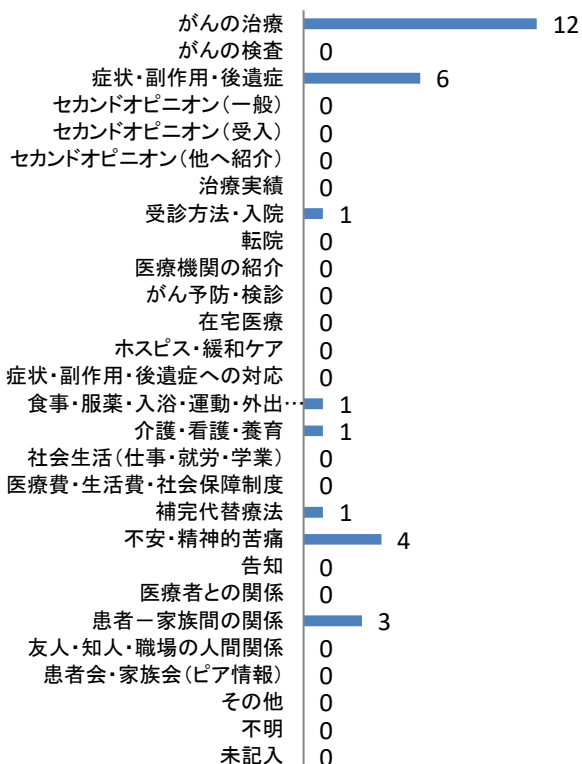
相談内容 (実施したもののすべて)



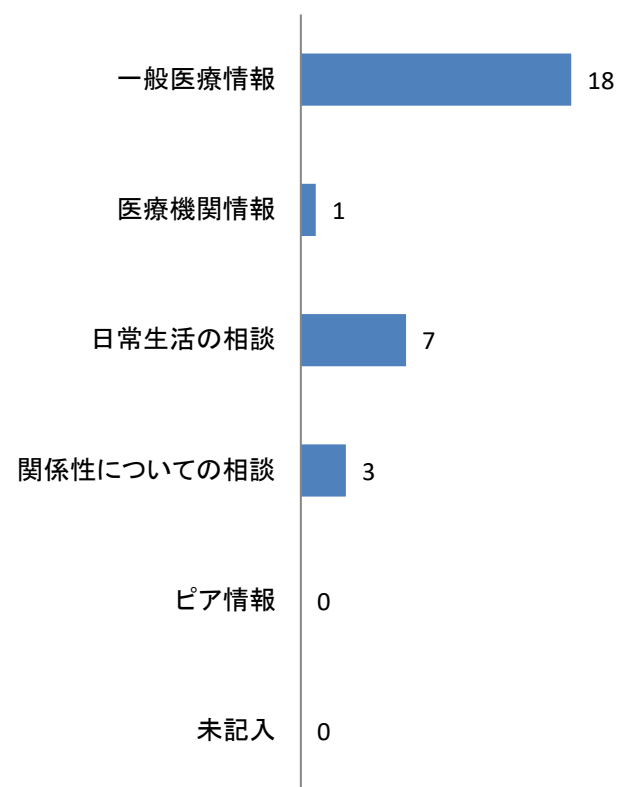
相談内容 (実施したもののすべて・大項目別)



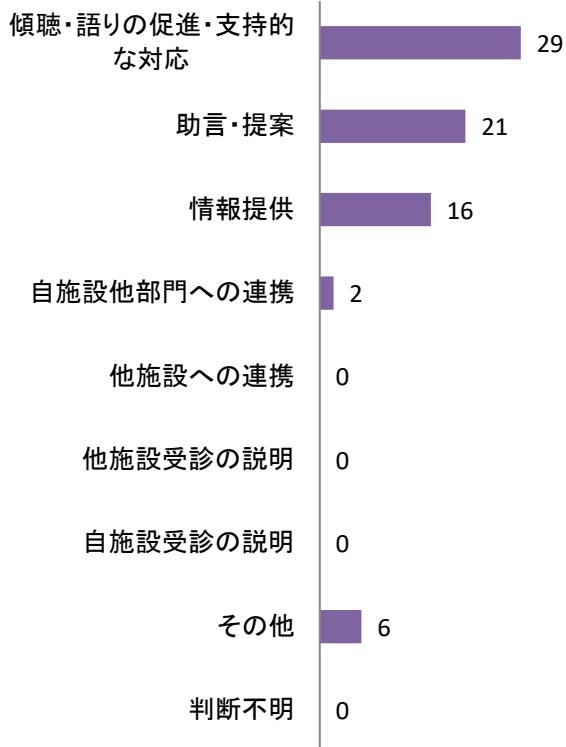
相談内容 (最も比重の高いもの)



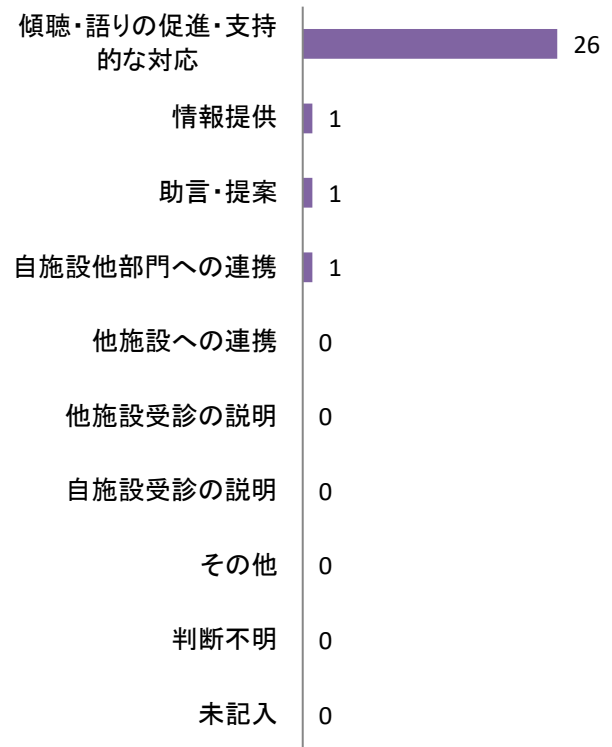
相談内容 (最も比重の高いもの・大項目別)



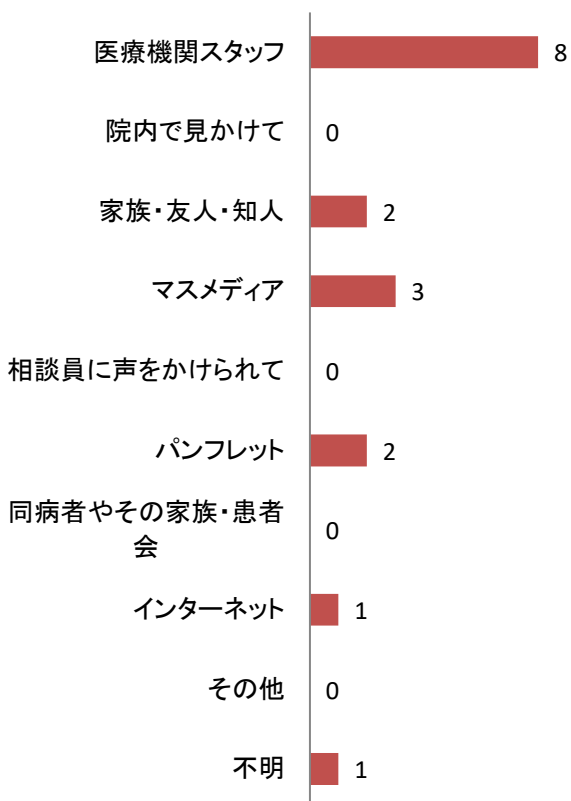
対応内容 (実施したもののすべて)



対応内容 (最も比重の高いもの)



認知経路



第2回 沖縄県内各拠点病院院内患者サロン参加報告書

名 称	ゆんたく会（がんピアサロン）
参加目的	沖縄県地域統括相談支援センターで養成したがんピアサポーターを各拠点病院の院内患者サロンへ派遣し活動の場の創出を図る。
日 程	日 時 令和3年10月7日（火）14：00～16：00 場 所 琉球大学病院 大学院セミナー室
派遣者	がんピアサポーター 2名
引率者	沖縄県地域統括相談支援センター事務補佐 1名
主 催	琉球大学病院 がん相談支援センター
当日の様子	<ul style="list-style-type: none">・テーマを設けず、フリートークの交流を図る。・各自己紹介（がん種や近況について紹介） 運動を日頃から行っているとの紹介が多くあったためか、運動に関する話題が多かった。（日頃行っているスクワットやラジオ体操などについて）・日頃ニュース等で良く耳にする医療用語（血中酸素濃度）などに関する質問として、解りやすい言葉や表現方法で患者には伝えてほしいとの意見が参加者より聞かれ、緩和ケア看護師より、酸素濃度の機能について分かりやすく説明をされていた。参加者は様々な情報共有が出来る事に安堵している様子が伺えた。・最後にピアサポーターより、当センターの啓発活動として、ラジオ放送やオンラインゆんたく会について周知を行い、15：55頃には次回の対面ゆんたく会の案内があり16：00には終了した。 <p>*参加者（患者3名）・緩和ケア看護婦1名・院内看護師1名・琉大看護科実習生3名・琉大相談員1名・琉大事務補佐1名</p>



第3回 沖縄県内各拠点病院院内患者サロン参加報告書

名 称	ゆんたく会（がんピアサロン）
参加目的	沖縄県地域統括相談支援センターで養成したがんピアサポーターを各拠点病院の院内患者サロンへ派遣し活動の場の創出を図る。
日 程	日 時 令和3年11月2日（火）14：00～16：00 場 所 琉球大学病院 大学院セミナー室
派遣者	がんピアサポーター 1名
引率者	沖縄県地域統括相談支援センター事務補佐 1名
主 催	琉球大学病院 がん相談支援センター
当日の様子	<p>・14：00 より田崎院長島袋盛洋氏による「がん患者さんの気持ちのつらさ」の講演会</p> <p>①身体疾患になるとうつ病になりやすい。</p> <p>②自治会に加入していない人が多い地域や、赤い羽根が集まらない地域は自殺率が低い。精神科の薬を飲みたがらない人もいるが、抗うつ剤はセロトニン不足を長持ちさせるため、心配する必要はない。</p> <p>③言えない自分から言える自分になると、不安の気持ちが小さくなる。</p> <p>③内面的なレベルで言えるようになろう （成育歴（親が厳しい人）で本音を言えない人がいる。その場合は臨床心理士を活用しカウンセリングを受けると良い）</p> <p>Q：自分の気持ちが言いづらい時はどうする A：医師に言えない時はナースに話したり、診察前に自分の気持ちをメモ書き、準備するとよい。</p> <p>・15：00 からのフリートークでは、告知後部屋を出られないほどの精神状態であった。時間をかけ、現在は徐々にがんであることを他人に言えるようになり、気持ちも楽になってきている話や、筋肉に出来る希少がんて放射線治療中の方へ、講師や看護師、ピアサポーターから丁寧に（良い希望をイメージして治療すること）説明をし、患者さんは安心している表情が見られた。</p> <p>*参加者（患者2名・家族1名）・医師1名・看護師3名・琉大相談員1名・琉大事務補佐1名</p>



第4回 沖縄県内各拠点病院院内患者サロン参加報告書

名 称	ゆんたく会（がんピアサロン）
参加目的	沖縄県地域統括相談支援センターで養成したがんピアサポーターを各拠点病院の院内患者サロンへ派遣し活動の場の創出を図る。
日 程	日 時 令和3年12月7日（火）14：00～16：00 場 所 琉球大学病院 大学院セミナー室
派遣者	がんピアサポーター 1名
引率者	沖縄県地域統括相談支援センター事務補佐 1名
主 催	琉球大学病院 がん相談支援センター
当日の様子	<p>・14：00より、膵臓がん患者会 NPO 法人パンキャンジャパン沖縄支部の方、3名による「体験談スピーチ」の講演を行った。</p> <p>・質疑応答では以下の内容について聞かれ、治療や現状、また今後の生活について、自身の体験をもとに、各講師がアドバイスを行った。</p> <p>①家族としてサポート出来る事は何か →手を添えるだけでも患者は楽になる。今まで通り普通に接してあげると良い。</p> <p>②病院選びのポイント →セカンドオピニオンを行わず、どの病院がよいとは基本ないと思う。</p> <p>③抗がん剤治療について →癌を治すための素晴らしい薬なので、辛い治療を乗り越えられた。</p> <p>④医療費について →高額療養費制度など、病院相談員へ相談を行った。</p> <p>・15：00からはフリートーク</p> <p>①食について</p> <p>②退院後の家族のサポートについて</p> <p>③治療の痛さなど たくさん話が聞かれ、ピアサポーターからも自身の体験談（治療の辛さや痛さは、治すための痛さと前向きに捉えた話など）交え、助言や交流を図った。</p> <p>*参加者（患者3名・家族3名）・看護婦4名・沖大実習生1名・琉大相談員1名</p>



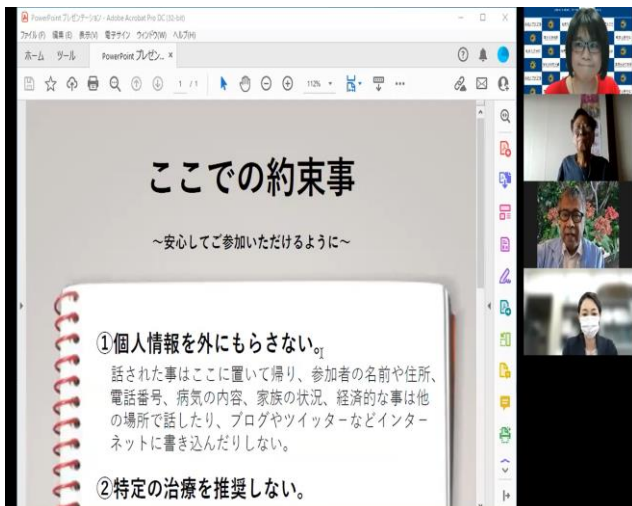
第4回 オンラインサロン参加報告書

名 称	第4回 オンラインゆんたく会（がんピアサロン）
目 的	がん患者等関係者並びにがん対策関係者へ沖縄県地域統括相談支援センターで養成したがんピアサポーターを派遣し活動の場の創出を図る。
日 程	日 時 令和3年10月19日（金）14：45～15：45 場 所 各自施設 ピアサポーター：琉球大学病院 共用カンファレンスルーム
派遣者	がんピアサポーター 2名
引率者	沖縄県地域統括相談支援センター 事務補佐 1名
主 催	琉球大学病院 がんセンター内 沖縄県地域統括相談支援センター
当日の様子	<ul style="list-style-type: none"> ・患者さん ZOOM 入室に時間を要したため、15分遅れの14：45よりオンラインゆんたく会を開始。 ・はじめに会の約束事及びオンラインでの注意事項の読み合わせを行い、守秘義務について共通認識を図った。 ・以前もオンラインゆんたく会への参加メンバー（患者様、那覇市立病院サロン担当者/実習生）でしたので、各自己紹介を割愛し、近況について交流を図った。 ・那覇市立病院主催のサロン再開について、質問があがり、対面でのゆんたく会（病院建替えにより）会場確保が難しい状況。オンラインでのサロンを準備するにあたり、当センター主催のオンラインを体感する事で患者様とのふれあいの様子を確認していた。 ・母親の介護をされながら自身の治療に向き合っているお話や、感染対策を徹底していることでコロナ過でも、安全に過ごしている話が聞かれた。 <p>オンラインゆんたく会の時間を有意義に過ごされている姿が印象的であった。 最後に15：40頃から次回の案内などをして15：45に終了をした。</p> <p>*参加者（患者様1名・那覇市立病院サロン担当者2名/実習生3名）</p>



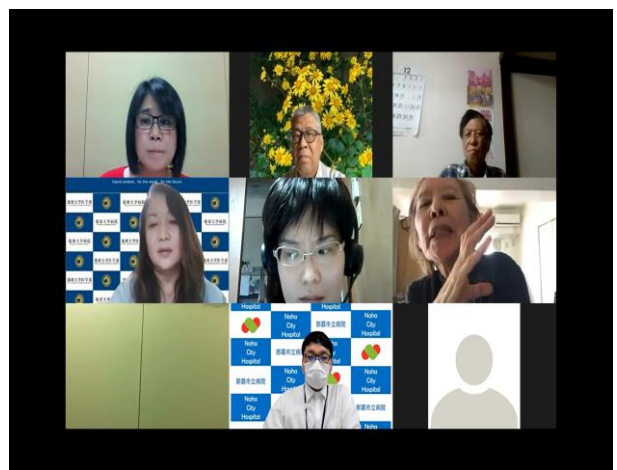
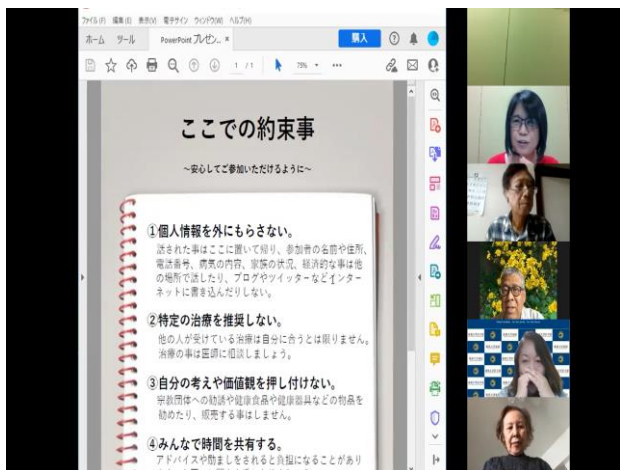
第5回 オンラインサロン参加報告書

名称	第5回 オンラインゆんたく会（がんピアサロン）
目的	がん患者等関係者並びにがん対策関係者へ沖縄県地域統括相談支援センターで養成したがんピアサポーターを派遣し活動の場の創出を図る。
日程	日時 令和3年11月16（火）14：30～15：30 場所 各自施設 ピアサポーター：琉球大学病院 がんセンター内
派遣者	がんピアサポーター 1名
引率者	沖縄県地域統括相談支援センター 事務補佐 1名
主催	琉球大学病院 がんセンター内 沖縄県地域統括相談支援センター
当日の様子	<ul style="list-style-type: none"> ・14：30よりオンラインゆんたく会開始 （患者様3名が14時にはスムーズに入室出来た為、30分多く交流を図った） ・はじめに会の約束事及びオンラインでの注意事項の読み合わせを行い、守秘義務について促しを行い、了解を得た。 ・各自己紹介（がん種や近況について紹介） 初参加の方や数回参加されている方、那覇市立病院サロン担当者の参加が見られた。 ・今回のゆんたく会は、がん告知後の状況や、余命までの時間をどう過ごすかなどのお話があがった。ピアサポーターより、前向きな思考をイメージし過ごした事や、我慢をしてしまう事も多かったので、「辛い時は辛い、いい状態の時は良い」と明確に医師や看護師に伝えていた事など、がん細胞をいい細胞へ切り替える意識についての体験談が聞かれた。参加された患者さんからも、どうしても生きていたい理由をもつ事や食事方法など、話題が尽きないほど聞かれた。 <p>15：25頃から次回の案内を行い15：30には会を終了した。</p> <p>*参加者（患者様3名・那覇市立病院サロン担当者2名）</p>



第6回 オンラインサロン参加報告書

名 称	第6回 オンラインゆんたく会（がんピアサロン）
目 的	がん患者等関係者並びにがん対策関係者へ沖縄県地域統括相談支援センターで養成したがんピアサポーターを派遣し活動の場の創出を図る。
日 程	日 時 令和3年12月21（火）14：30～15：30 場 所 各自施設 ピアサポーター：琉球大学病院 がんセンター内
派遣者	がんピアサポーター 1名
引率者	沖縄県地域統括相談支援センター 事務補佐 1名
主 催	琉球大学病院 がんセンター内 沖縄県地域統括相談支援センター
当日の様子	<ul style="list-style-type: none"> ・14：30よりオンラインゆんたく会開始 ・はじめに会の約束事及びオンラインでの注意事項の読み合わせを行い、守秘義務について促しを行い、了解を得た。 ・各自己紹介（がん種や近況について紹介） ・交流の内容として、メンタル低下（不安）時の対処方法、治療の辛さ、検査結果（検査前）への心構え、最新情報の取得方法などの話があがった。 <p>ピアサポーターより、前向きな思考（イメージ）や、食事の方法、検査内容や結果について、「生きるために必要な事」と前向きに捉え、治療に臨んでいた自身の体験を下に助言を行った。</p> <p>また、患者同士でもアドバイス（自己体験談）を行い、それぞれ患者の思いや治療への姿勢について交流を図った。</p> <p>また、最新情報取得については、国立がんセンターのホームページなど参考にしてはどうかとのアドバイスを那覇市立病院相談員より行った。</p> <p>治療で辛い際は、オンラインゆんたく会（サロン）、電話や対面での相談を琉大では受け付けている事を案内し、15：25頃から次回の案内を行い15：30に会を終えた。</p> <p>*参加者（患者様4名・那覇市立病院サロン担当者2名）</p>



がんピアサポート展 開催報告

実施日：①令和3年10月1日（金）～ 令和3年10月7日（木）
株式会社サンエー 那覇メインプレス

②令和3年10月9日（金）～ 令和3年10月15日（木）
株式会社サンエー 西原シティ

③令和3年11月3日（水）～ 令和3年11月29日（月）
沖縄県立図書館

開催概要

1. 名 称 がんピアサポート展（がんピアサポート相談室）
～経験したからこそ分かりあえること～
2. 日 時 ①（株）サンエー那覇メインプレス ： 10月01日～10月07日
（パネル搬入日 9/30・15時頃～/パネル撤去日 10/7・15時頃～）
②（株）サンエー西原シティ ： 10月09日～10月15日
（パネル搬入日 10/8・15時頃～/パネル撤去日 10/15・15時頃～）
③沖縄県立図書館 ： 11月3日～11月29日
（パネル搬入日 11/2・15時頃～/パネル撤去日 11/30・15時頃～）
3. 場 所 株式会社サンエー
①〒900-0006 那覇市おもろまち4丁目4-9（那覇メインプレス）
②〒903-0102 西原町嘉手刈130（西原シティ）
③〒900-0021 那覇市泉崎1-21-1
カフーナ旭橋A街区（沖縄県立図書館）
4. 対 象 地域住民の皆様、がん患者およびその家族、関心のある方
5. 目 的 沖縄県地域統括相談支援センター普及広報
がん患者やその家族が抱えている不安や心配ごとなどをがん体験者（ピアサポーター）が自身の経験に基づき、同じ立場でお話ししたり聴いたりすることで軽減、気持ちの整理をつける場でもあることを広く展示紹介する。
6. 内 容 沖縄県地域統括相談支援センター活動展
 - ・センターの概要 ： 活動内容、相談対応時間等の情報案内
 - ・相談事例（匿名）：実際の相談内容を数点（パネル）紹介することで来場者にイメージをもたせる
 - ・がん情報 ：がんサポートハンドブック、がん患者さんのための療養場所ガイド、がん冊子、がん情報図書、事業イベント案内チラシなど



▲那覇メインプレス様子



▲西原シティ様子



▲沖縄県立図書館

ラジオ広報 報告

実施日：①FM21 株式会社

令和3年10月01日（金）～ 令和3年10月29日（金）
毎週金曜日 17：00 ～ 18：00

②株式会社アドスタッフ博報堂

令和3年10月01日（金）～ 令和3年12月15日（水）
FM 沖縄 / RBC i ラジオ / ラジオ沖縄
毎週月・水・金、 11時台・13時台・16時台

③株式会社ラジオ沖縄 「華華天国」

令和3年11月30日（火）14：30 ～ 16：40

開催概要

1. 名称 ラジオ広報（がんピアサポート相談室）
2. 日時
 - ①FM21 株式会社
〒901-2102 浦添市前田 1-54-1-7F
令和3年10月1日（金） ～ 令和3年10月29日（金）
毎週金曜日 17：00 ～ 18：00
 - ②株式会社アドスタッフ博報堂
令和3年10月1日（金） ～ 令和3年12月15日（水）
ラジオ CM 放送： FM 沖縄（10.1～10.25_月・水・金_13 時台）
R B C i ラジオ（10.27～11.19_月・水・金_16 時台）
ラジオ沖縄（11.22～12.15_月・水・金_11 時台）

ラジオカー放送： ハッピーアイランド街角トピックス（10.6_12：32～）
BALOON アドバルーン（11.4_10：00～）
わん DAY あまくま訪問（11.10_17：10～）
 - ③株式会社 ラジオ沖縄 「華華天国」番組
〒900-8604 那覇市西 1-4-8
令和3年11月30日（火）14：30 ～ 16：40（放送日）
令和3年11月24日（水）16：00 ～ 17：40（収録日）
3. 目的 沖縄県地域統括相談支援センター普及広報
がん患者やその家族が抱えている不安や心配ごとなどをがん体験者（ピアサポーター）が自身の経験に基づき、同じ立場で話をしたり、聴いたりすることで軽減や、気持ちの整理を共につける場でもあることを広く紹介。また、活動の概要、がんピアサポート相談室の利用方法や事業イベントについて広報する。
4. 内容
 - ①FM21 株式会社より 10 周年特別番組
（センター開設日：平成 23 年 10 月 1 日）
 - ・センター発足 10 年の節目の年、番組内で、発足理由と目的、当時のサポーターよりコメントを配信
 - ・センター概要、がんピアサポート相談室の活動内容、相談対応時間、

これまでの実績、事業イベントなどの案内

- ・がんピアサポーターによる体験談（家族のサポートなど）、また当時の思い出の曲を配信
- ・がんサポートハンドブック、設置場所などの案内

②株式会社アドスタッフ博報堂（FM 沖縄・RBC i ラジオ・ラジオ沖縄）

- ・沖縄県地域統括相談支援センター概要について 20 秒 CM（各局 11 本）
- ・がんピアサポート相談室の活動内容、相談対応時間、事業イベントなどの案内

③株式会社ラジオ沖縄 「華華天国」

- ・「がん」をテーマに、リスナーへコメントを事前に募集。
センターの概要（がんピアサポート相談室の活動内容・相談時間・問い合わせ先、がん情報（がんサポートハンドブック）等について収録した内容をリスナーのコメントに対し差し込み放送。



▲①FM21 での様子



▲②ラジオカー



▲②ラジオカー



▲③ラジオ沖縄「華華天国」にて事前収録の様子